

春日部労基だより

労務管理、安全衛生、労働保険等に関する情報を提供いたします。
掲載内容についてご不明な点がある場合には、当監督署までお問い合わせください。

◆労働災害発生状況

令和3年1月1日から9月16日現在の埼玉労働局管内における死亡災害発生件数は17件で、前年同期と比べ5件増加しています。

交通事故6件、墜落転落4件、はさまれ巻き込まれ、激突され、崩壊・倒壊がそれぞれ2件となっています。

また、春日部署管内における死亡災害発生件数は8件で、前年同期と比べ3件増加しています。

埼玉労働局管内の死亡災害発生事例、リーフレット「春日部署管内の建設業における労働災害発生状況」を掲載いたしますので、労働災害防止にお役立てください。☞2～4ページ目

◆11月は過重労働解消キャンペーン月間です

平成26年11月に施行された「過労死等防止対策推進法」において毎年11月は「過労死等防止啓発月間」とされています。

長時間にわたる過重な労働は疲労の蓄積をもたらす最も重要な要因です。

時間外・休日労働が45時間を超えて長くなるほど、業務と脳・心臓疾患の発症との関連性が強まります。

時間外・休日労働の削減、有給休暇取得の促進、労働者の健康管理に関する措置を推進しましょう。☞専用Webサイト「過重労働解消キャンペーン」

◆第80回全国産業安全衛生大会

中央労働災害防止協会主催、厚生労働省後援の全国産業安全衛生大会が、

現地開催（東京）：令和3年10月27日から29日まで

オンライン開催：令和3年10月27日から11月30日まで

開催されます。

オンライン開催の期間が長いので、ご都合に合わせてぜひ参考にしてみてください。☞<https://www.nep-sec.jp/taikai2021/>

令和3年 死亡災害発生事例

(令和3年9月16日集計)

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
1	2月	0時	道路貨物運送業	10～29人	配送先の傾斜地に2トントラックを停めて降車したところ、傾斜地を逸走した2トントラックと建物の間にはさまれたもの。	はさまれ・巻き込まれ	トラック
2	3月	17時	建設業(その他の建設業)	1～9人	ドラグショベルの解体作業中、溶断したブームとともに地上に墜落し、ブームの下敷きになったもの。	墜落・転落	車両系建設機械
3	3月	6時	道路貨物運送業	10～29人	大型トレーラーを運転中、高速道路本線からインター出口方面へハンドルを切ったところ、車体がバランスを崩し横転したもの。	交通事故(道路)	トラック
4	3月	6時	卸売業	10～29人	2トントラックで高速道路を走行中、車線変更したところ、ハイドロプレーニング現象によりコントロールを失い、側壁に衝突したもの。	交通事故(道路)	トラック
5	4月	11時	製造業(窯業・土石)	50～99人	ホイストが2基付いている天井クレーンで、H鋼をつり上げたところ、連動したもう一方のフックがコンクリート製品用型枠(重さ2t)に引っ掛かり、滑り落ちで同クレーンの操作者に激突したもの。	激突され	クレーン
6	5月	9時	警備業	40～50人	高速道路上での工事規制帯内を徒歩で移動中、同規制帯内に侵入してきた一般通行車両にはねられたもの。	交通事故(道路)	乗用車、バス、バイク
7	5月	16時	その他	1～9人	エレベータピット内で、建屋側の出入口扉のワイヤーロープの交換作業が終了し、エレベータを自動運転に切り換えて始動させたところ、下降したカウンターウエイトに激突されたもの。	激突され	エレベーター、リフト
8	6月	10時	製造業(金属製品)	10～29人	フォークリフト(ナンバープレート付)を運転して、工場へ向かって公道を走行していたところ、公道脇の水路に横転したもの。	交通事故(道路)	フォークリフト
9	6月	15時	建設業(道路建設工事)	1～9人	山の斜面において、片付け作業を行っていた作業員に上方からの落石が激突したもの。	崩壊・倒壊	地山、岩石
10	6月	10時	道路貨物運送業	1～9人	ライトバンで片側2車線の国道を走行中、車線をまたいでガードレールに衝突したもの。	交通事故(道路)	乗用車・バス・バイク
11	8月	11時	道路貨物運送業	1～9人	トラックで国道を走行中、赤信号で停車していた大型トラックに追突したもの。	交通事故(道路)	トラック
12	8月	9時	建設業(その他)	10～29人	立坑内で作業中、立坑壁面に仮設されていたコンクリート板が倒れ、下敷きとなったもの。	崩壊・倒壊	建築物、構築物
13	8月	9時	ビルメンテナンス業	10～29人	建物4階の窓ふき作業を行っていたところ、墜落したもの。	墜落・転落	建築物、構築物
14	8月	11時	道路貨物運送業	1～9人	大型機械を工場内に搬入する作業中、同機械が倒れて下敷きとなったもの。	はさまれ・巻き込まれ	荷
15	8月	2時	ビルメンテナンス業	50～99人	建物内の階段を転落し、頭部を強打したもの。	墜落・転落	建築物、構築物
16	9月	8時	建設業(建築)	1～9人	鉄骨造4階部分の床梁上に仮置きされた床材の上にいるところ墜落したもの。	墜落・転落	建築物、構築物

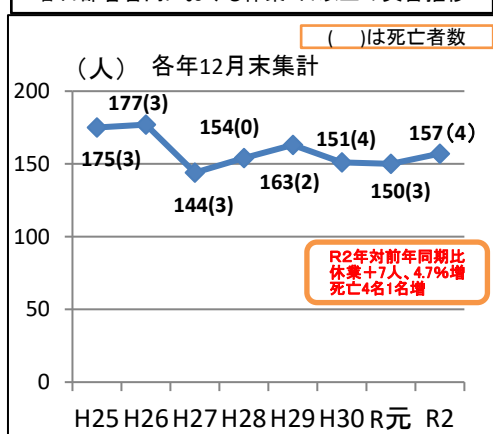
※「脳・心臓疾患」、「精神障害」、「新型コロナウイルス感染症」に係るもの及び調査中のものは除く

春日部署管内の建設業における労働災害発生状況

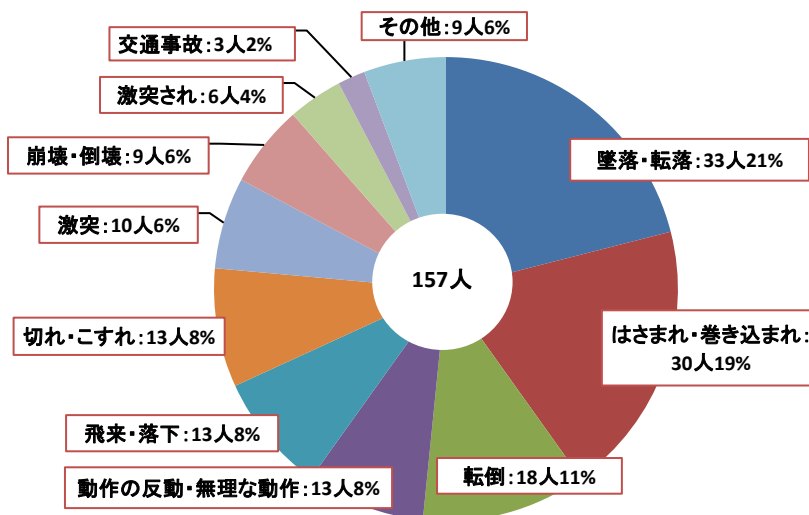
建設工事現場における安全対策を進めましょう！

- 1 現場安全衛生管理体制を確立し、安全衛生計画を推進しよう！
- 2 作業工程毎にリスクアセスメントを実施しよう！
- 3 作業手順書を定め、各職方における災害を防ぎましょう！
- 4 同一敷地内で請負体系が複数混在する場合は、災害防止連絡協議会を設け、災害防止活動を推進しよう！
- 5 4S(整理・整頓・清掃・清潔)活動で転倒災害を防ぎましょう！
- 6 腰痛予防対策を進めましょう！
- 7 エイジフレンドリーガイドラインに基づく高齢労働者対策を推進し、安全安心な職場環境を形成しよう！
- 8 請負契約における適切な安全衛生経費を確保しよう！

春日部署管内における休業4日以上の災害推移



令和2年労働災害発生状況 事故の型別人数と割合



事故の型別では、①「墜落・転落」、②「はさまれ・巻き込まれ」③「転倒」で全体の51%を占めます。①②③の主なものとして、①脚立から墜落・転落。②クレーンで吊った荷と躯体間へのはさまれ。③資材置き場でのつまづきによる転倒などがあげられます。

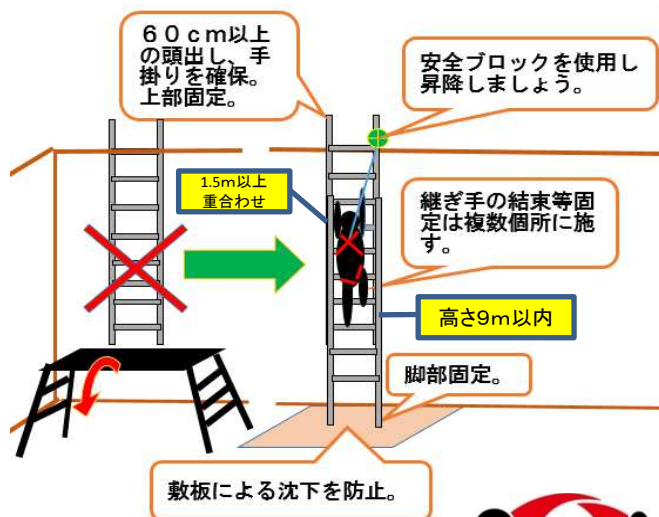
また、「転倒」の半数以上が骨折する等の重傷となっています。

災害事例と対策

【①災害事例・②原因・③対策】

【昇降中の墜落・転落】

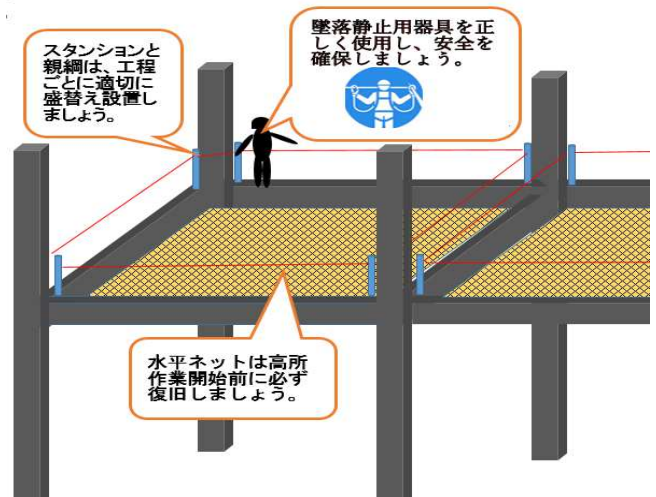
- ① 基礎ピットへ降りるために、昇降タラップから中継台の立ち馬に乗り移った時、立ち馬が傾きバランスを崩して墜落した。
- ② 2本つなぎで使用していた下部の昇降タラップを予定より早く外し、代用として立ち馬を使用した。
- ③ 立ち馬を併用するのではなく昇降タラップの復旧を行い、タラップの最上部に安全ブロック等を設け昇降の際に使用する。



【①災害事例・②原因・③対策】

【鉄骨建方中の墜落・転落】

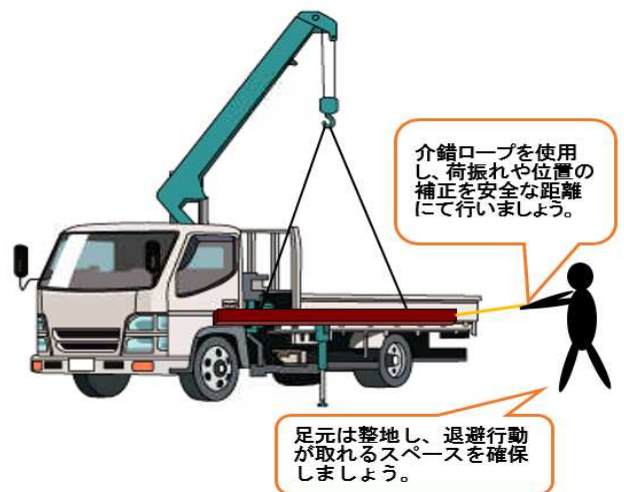
- ① 鉄骨建方中、2F梁上で、デッキ材の荷卸しをしていたところ、バランスを崩して高さ4.2mの梁上より1F床に墜落した。
- ② 水平ネット復旧が未施工の状態で、スタンションの親綱が設置されていたが、着用していた墜落制止用器具を使用しないまま移動した。
- ③ 水平ネットなどの墜落防止措置を先行して復旧する。移動の際は親綱を使用し、墜落制止用器具のフックの掛替は、2丁掛替手順を遵守する。



【①災害事例・②原因・③対策】

【クレーン作業中のはさまれ・巻き込まれ】

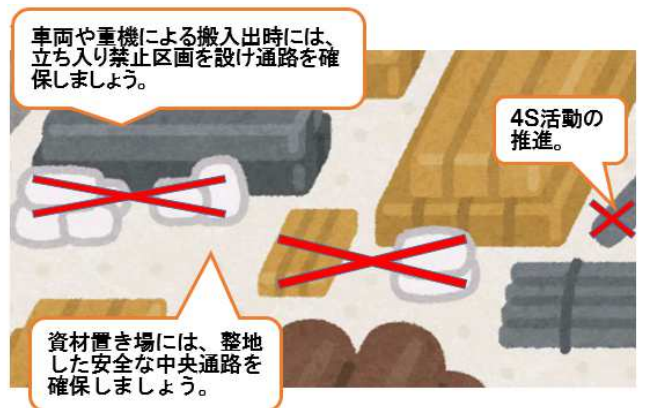
- ① ユニック車でH鋼材の荷卸しを行っていた労働者が、地上約20cmの高さに吊った荷の位置調整していたところ、地面の段差に足を取られ、バランスを崩し、揺れている鋼材と段差との間に脛を挟まれた。
- ② 足元が不安定な箇所で作業を行っていた。荷から離れた位置で、介錯ロープ等を使用し、荷揺れを安定させる措置を行わなかった。
- ③ 安全な足元の確保と、退避行動が行える位置にて、介錯ロープ等により荷揺れを防止し、荷が安定した状態で荷卸しを行うこと。



【①災害事例・②原因・③対策】

【資材置き場での転倒】

- ① 資材置き場において、材料を運んでいるときに、石につまづき転倒した。
- ② 通路上の石等が除去されていない、整地していない。安全通路が確保されていない。
- ③ 安全通路を配置し、資材置き場ごとの有効作業面積を確保し、4S活動を継続して取り組むこと。



【①災害事例・②原因・③対策】

【人力運搬中の動作の反動・無理な動作】

- ① 住宅基礎工事において、鉄筋を運んでいたところ、足元が悪い状態にあったので、バランスを崩し、腰に負担がかかり負傷した。
- ② 安全に運搬できる通路等が確保されていない。
重量物や長尺物などバランスを崩すと危険な荷の運搬の取扱い基準がないまま運搬させた。
- ③ 敷板や整地による安全通路を確保し、重量物や長尺物の取扱い基準を定め、身体に掛かる負荷の低減を行うこと。
(参考:エイジフレンドリーガイドライン)



高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン (エイジフレンドリーガイドライン) による高齢者対策を推進しましょう。